



東京製綱株式会社
TOKYO ROPE MFG.CO.,LTD.

2008年3月期 中間決算説明会

2007年12月5日

目次

08年3月期中間決算の概要

08年3月期見通し

中計『ステップアップ8・7』の現状と今後の展望

08年3月期中間決算の概要

08年3月期見通し

中計『ステップアップ8・7』の現状と今後と展開

2008年3月期中間決算のポイント

前年同期比増収減益、計画達成

売上
営業利益

スチールコード部門を除き、前年同期比増収増益

中間純利益

役員退任慰労金の特損計上

2008年3月期中間決算ハイライト

期初計画を上回る業績を達成

(単位:百万円)

	06/9	売上 高比	07/9	売上 高比	前年同期比		期初 計画	増減
売上高	32,073	-	34,693	-	+2,620	+8.2%	32,000	+2,693
営業利益	1,543	4.8%	1,241	3.6%	△302	△19.6%	1,200	+41
経常利益	1,399	4.4%	911	2.6%	△488	△34.9%	900	+11
当期純利益	662	2.1%	118	0.3%	△544	△82.2%	100	+18

主力2セグメントの状況－売上高

鋼索鋼線： ロープ・ワイヤ増、スチールコード減

開発製品： 道路関連、産業機械ともに堅調

(単位:百万円)

	06/9	構成比	07/9	構成比	前年同期比		期初 計画
鋼索鋼線	19,505	60.8%	20,015	57.7%	+510	102.6%	18,500
開発製品	7,792	24.3%	9,652	27.8%	+1,860	123.9%	8,700
不動産	679	2.1%	698	2.0%	+19	102.8%	700
その他	4,095	12.8%	4,326	12.5%	+231	105.6%	4,100
合計	32,073	100.0%	34,693	100.0%	+2,620	108.2%	32,000

売上高増減要因分析 (08年3月期中間)

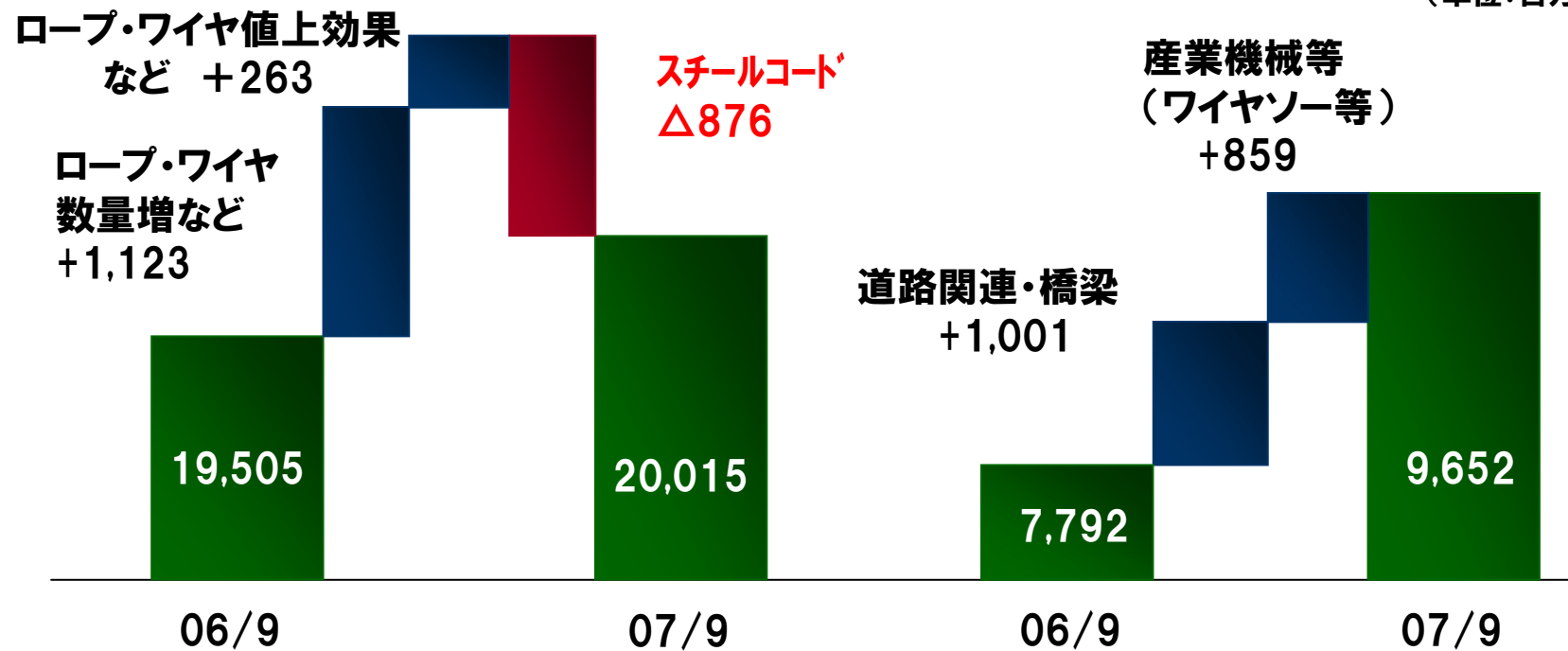
鋼索鋼線

開発製品

ロープ・ワイヤ・スチールコード・ソーワイヤ

道路安全施設・産業機械・橋梁など

(単位:百万円)



セグメント別営業利益

鋼索鋼線： ロープ・ワイヤ増益、スチールコード減益

開発製品： 産業機械堅調で増益

(単位:百万円)

	06/9	構成比	07/9	構成比	前年同期比		期初 計画
鋼索鋼線	904	58.6%	423	34.1%	△481	46.8%	450
開発製品	86	5.6%	194	15.7%	+108	225.6%	200
不動産	383	24.8%	407	32.8%	+24	106.3%	400
その他	170	11.0%	215	17.4%	+45	126.5%	150
合計	1,543	100.0%	1,241	100.0%	△302	80.4%	1,200

営業利益増減要因分析(08年3月期中間)

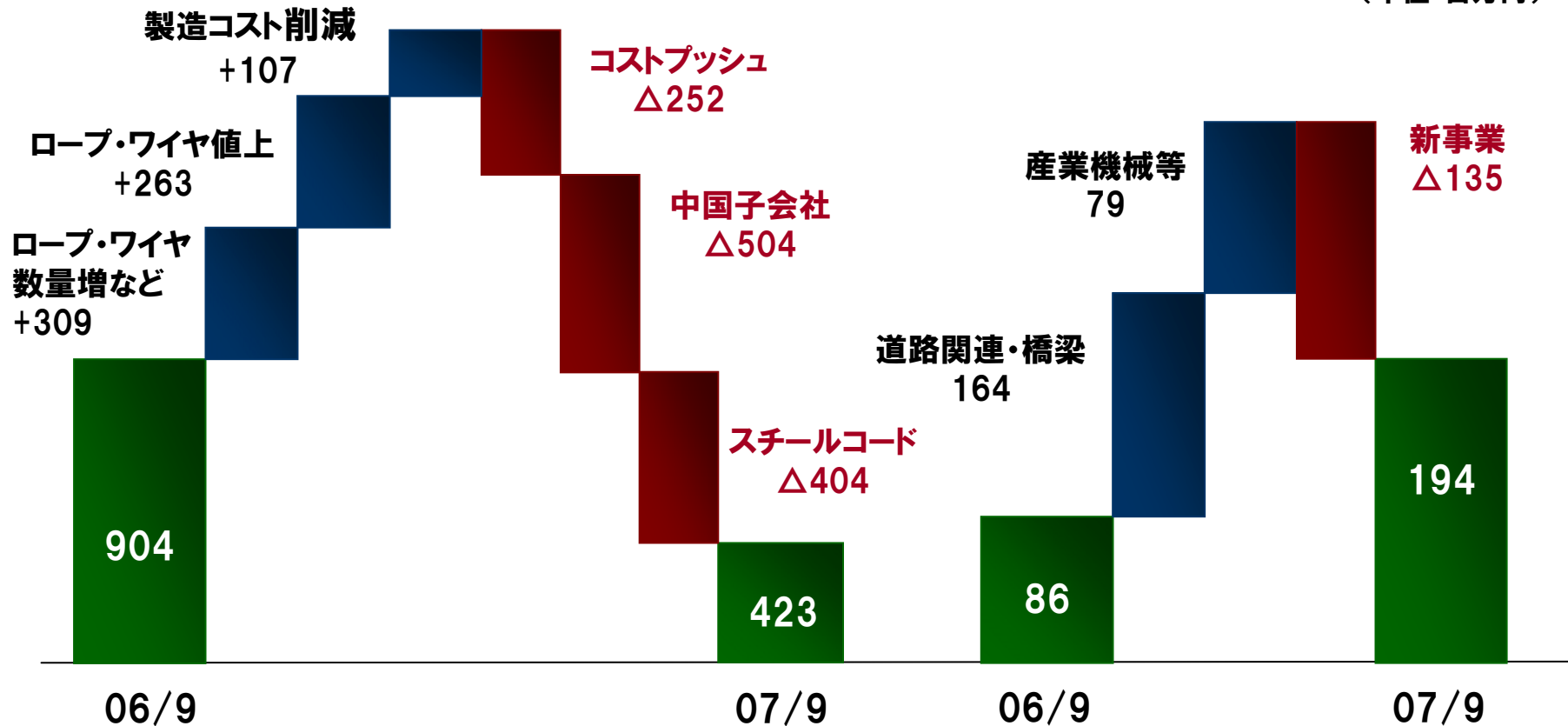
鋼索鋼線

開発製品

ロープ・ワイヤ・スチールコード・ソーワイヤ

道路安全施設・産業機械・橋梁など

(単位:百万円)



キャッシュ・フロー

営業キャッシュ・フロー： 売上増により、売掛債権が増加

投資キャッシュ・フロー： 前期は中国関連投資あり

財務キャッシュ・フロー： 長期借入金が増加

(単位:百万円)

	06/9	07/9	差異
現金及び現金同等物の期首残高	4,368	1,051	△3,317
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,760	1,529	△2,231
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,345	△2,060	+2,285
フリー・キャッシュ・フロー	△585	△531	+54
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,152	351	+2,503
現金及び現金同等物の期末残高	1,626	878	△748

08年3月期中間決算の概要

08年3月期見通し

中計『ステップアップ8・7』の現状と今後の展望

2008年3月期見通し

売上高780億円に上方修正(+30億円)

売上高 : 上半期の開発製品堅調を織り込み、計画修正

営業利益: 中国事業立ち上がり遅れを考慮し、期初計画通り

(単位:百万円)

	07/3 実績	売上高比	08/3 見通し	売上高比	増減		期初計画
売上高	69,193	—	78,000	—	+8,807	112.7%	75,000
営業利益	3,881	5.6%	4,500	5.8%	+619	115.9%	4,500
経常利益	3,314	4.8%	4,000	5.1%	+686	120.7%	4,000
当期純利益	1,753	2.5%	1,800	2.3%	+47	102.7%	1,800

2008年3月期見通し(セグメント別売上高)

鋼索鋼線・開発製品共に前年比増

鋼索鋼線 : 好調なロープ・ワイヤでスチールコードの減少をカバー

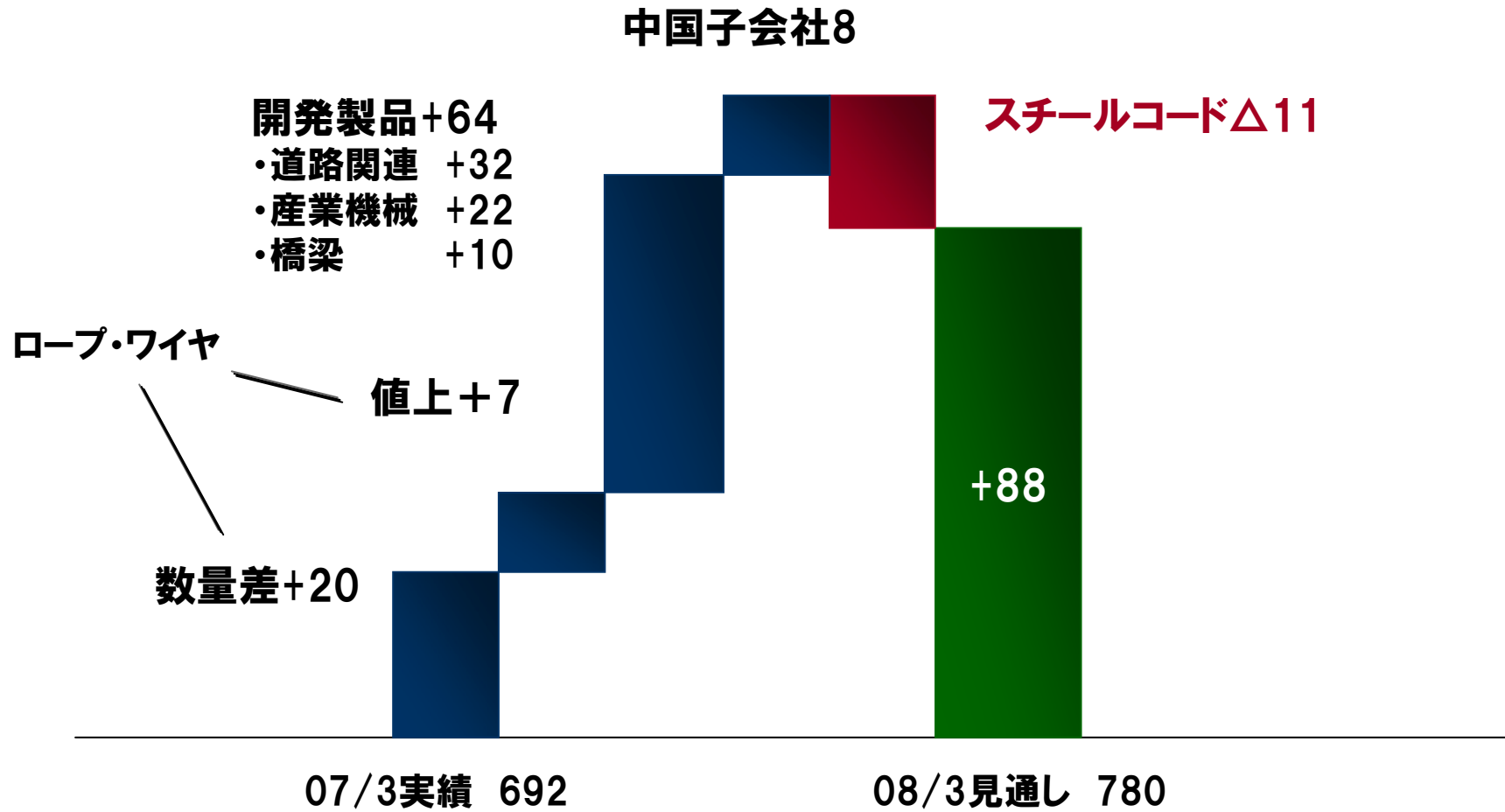
開発製品 : 計量/包装機・ワイヤソー伸長、道路(遮音壁)・橋梁回復

(単位:百万円)

	07/3	構成比	08/3	構成比	前年比		期初計画
	実績		見通し				
鋼索鋼線	38,933	56.3%	41,300	52.9%	+2,367	106.1%	40,500
開発製品	20,080	29.0%	26,500	34.0%	+6,420	132.0%	24,600
不動産	1,377	2.0%	1,400	1.8%	+23	101.7%	1,400
その他	8,802	12.7%	8,800	11.3%	△2	100.0%	8,500
合計	69,193	100%	78,000	100%	+8,807	112.7%	75,000

売上高見通し分析 (08年3月期)

(単位:億円)



2008年3月期見通し(セグメント別営業利益)

対前年比増益、期初計画変更なし(営業利益45億円)

鋼索鋼線: スチールコード部門低迷により、期初計画を修正

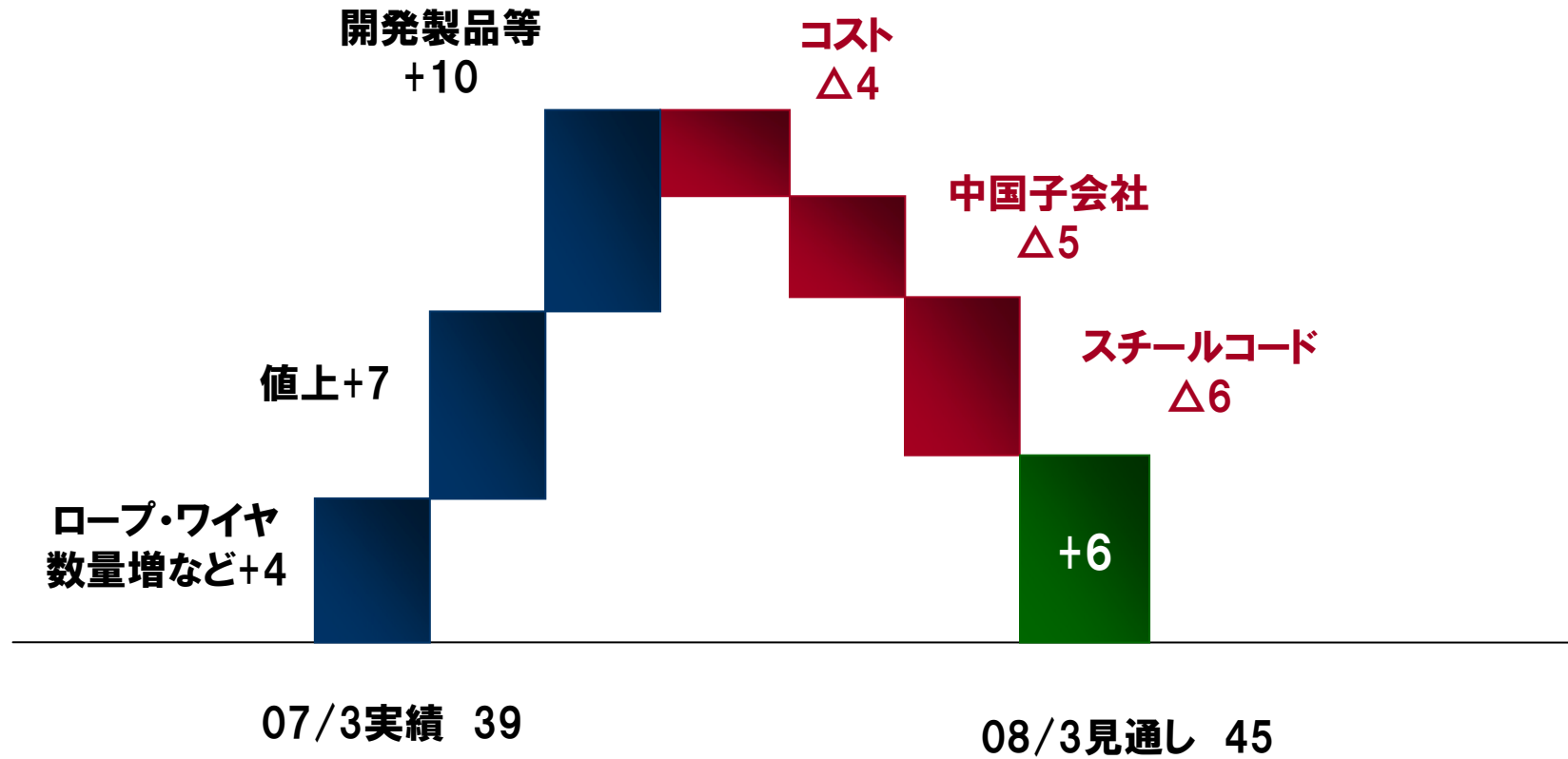
開発製品: 売上上方修正に連動して増益へ(+1億円)

(単位:百万円)

	07/3 実績	構成比	08/3 見通し	構成比	前年同期比		期初計画
鋼索鋼線	1,839	47.4%	1,500	33.3%	△339	81.6%	1,650
開発製品	888	22.9%	1,850	41.1%	+962	208.3%	1,750
不動産	796	20.5%	800	17.8%	+4	100.5%	800
その他	357	9.2%	350	7.8%	△7	98.0%	300
合計	3,881	100%	4,500	100%	+619	115.9%	4,500

営業利益見通し分析(08年3月期)

(単位:億円)



主要製品見通し - ロープ・ワイヤ、開発製品に期待 -

07/9 → 08/3

		07/9	08/3		
鋼索鋼線	ロープ・ワイヤ	○	◎	エレベーターロープ・海底ケーブル需要増	
	スチールコード	△	△	中国子会社に注力	
開発製品	産業機械	○	◎	ワイヤソーなどの増加	
	道路安全施設	○	◎	差別化商品拡大で受注増	
	国内橋梁	△	△	事業環境回復で底脱却	

設備投資額・減価償却費・研究開発費

設備投資額： 中国子会社への投資がピーク・アウト

減価償却費： 中国子会社・統合システムの償却開始、
今期以降取得の償却資産の加速償却等

従業員数： 中国子会社での増員中心

(単位:百万円)

	07/3 実績	08/3 見通し	差異	07/9 実績	08/3-10/3 計画
設備投資額	6,405	4,000	△2,405	1,290	14,000
減価償却費	3,091	3,700	+609	1,755	11,000
研究開発費	739	800	+61	386	2,500
従業員数(連結)	1,736	1,902	+166	1,837	1,887 (10/3末)

08年3月期中間決算の概要

08年3月期見通し

**中計『ステップアップ8・7』
順調にスタート**

中期経営計画 『ステップアップ8・7』

1. 財務重視から成長・拡大志向へ

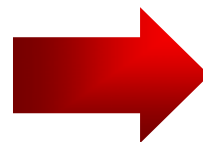
2. 継続的な競争力強化

「8」 売上高の拡大(2009年度の売上高800億円以上)

「7」 収益力の強化(2009年度の売上高経常利益率7%以上)

	07年3月期
売上高	692億円
経常利益率	4.8% (33億円)
自己資本比率	43.3%
有利子負債 (ネクスト771目標)	196億円 (150億円)

3年



「ステップアップ8・7」

10年3月期目標

800億円以上

7% (56億円)以上

45%以上

200億円以下

セグメント別売上高

鋼索鋼線： 中国タイヤコード・ソーワイヤが牽引

開発製品： 道路安全施設(差別化・新商品)・産業機械(ワイヤソー)増

(単位:百万円)

	07/3 実績	構成比	10/3 計画	構成比	対07/3比		08/3 見通し
					対07/3比	対07/3比	
鋼索鋼線	38,933	56.3%	43,000	53.7%	+4,067	110.4%	41,300
開発製品	20,080	29.0%	26,600	33.2%	+6,520	132.5%	26,500
不動産	1,377	2.0%	1,400	1.8%	+23	101.7%	1,400
その他	8,802	12.7%	9,000	11.3%	+198	102.2%	8,800
合計	69,193	100.0%	80,000	100.0%	+10,807	115.6%	78,000

セグメント別営業利益

スチールコード事業は3年以内に収益改善へ

(単位:百万円)

	07/3 実績	構成比	10/3 計画	構成比	対07/3比		08/3 見通し
鋼索鋼線	1,839	47.4%	2,800	44.4%	+961	152.3%	1,500
開発製品	888	22.9%	2,300	36.5%	+1,412	259.0%	1,850
不動産	796	20.5%	800	12.7%	+4	100.5%	800
その他	357	9.2%	400	6.4%	+43	112.0%	350
合計	3,881	100.0%	6,300	100.0%	+2,419	162.3%	4,500

投資計画など

設備投資：成長戦略に重点、リフレッシュ投資増加

(単位:百万円)

	ネクスト771計画 05/3-07/3	実績 05/3-07/3	ステップアップ'8・7 08/3-10/3
設備投資額	9,000	※9,267	14,000
内 既存分野	4,300	4,760	5,000
成長戦略	4,700	4,507	9,000
減価償却費	9,000	8,946	11,000

既存分野 50億円
 ・リフレッシュ投資
 ・省エネ・コスト削減 等

成長戦略 90億円
 ・中国スチールコード第二期
 ・ベトナム工場能力増強
 ・道路安全施設設備増強
 ・ホースワイヤ・
 ソーワイヤ増産 等

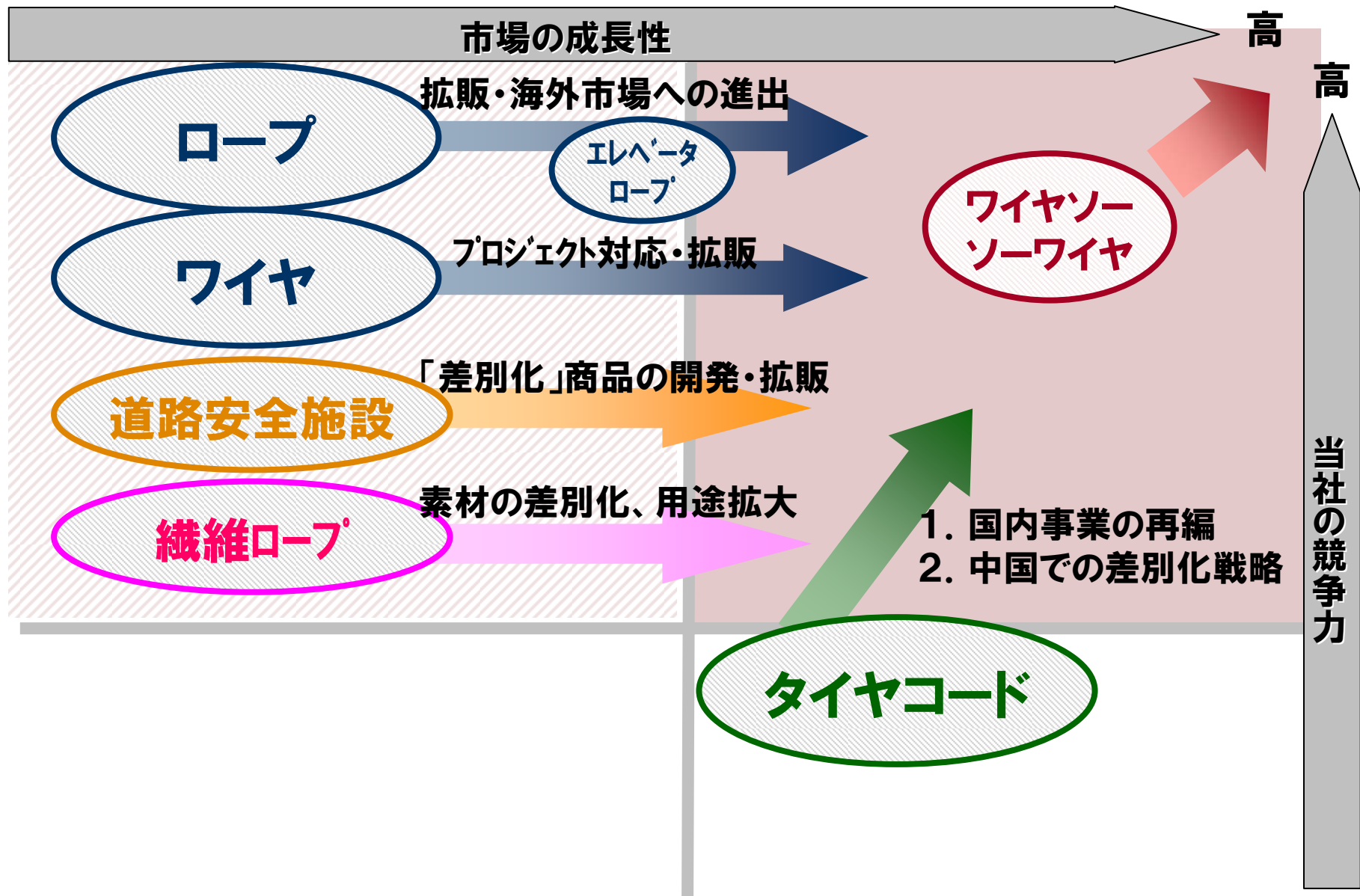
※ 少数株主負担分を除く

08年3月期中間決算の概要

08年3月期見通し

現状の取り組みと今後の展望

事業の方向性



(1) ロープ・ワイヤ部門

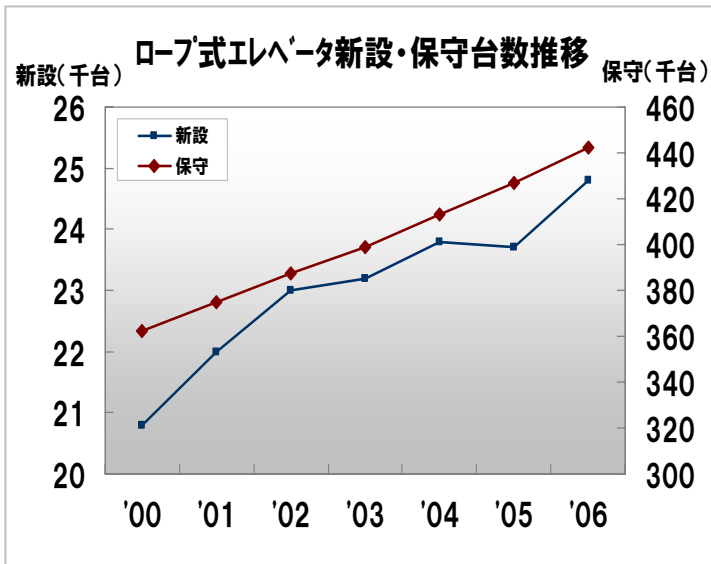
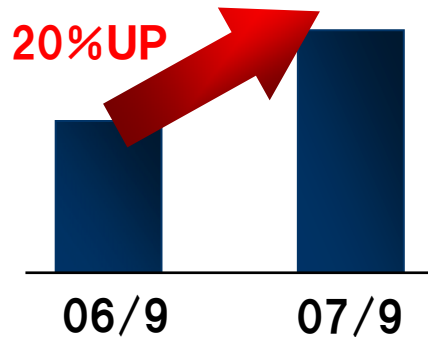
増加傾向にある国内ロープ需要

エレベーターロープの取替需要

+

重厚長大の復活（鉄鋼、造船等）

当社 エレベーターロープ
出荷量
前期比 20%UP



国内総需要量 t/月

17%UP



目先のプロジェクト案件

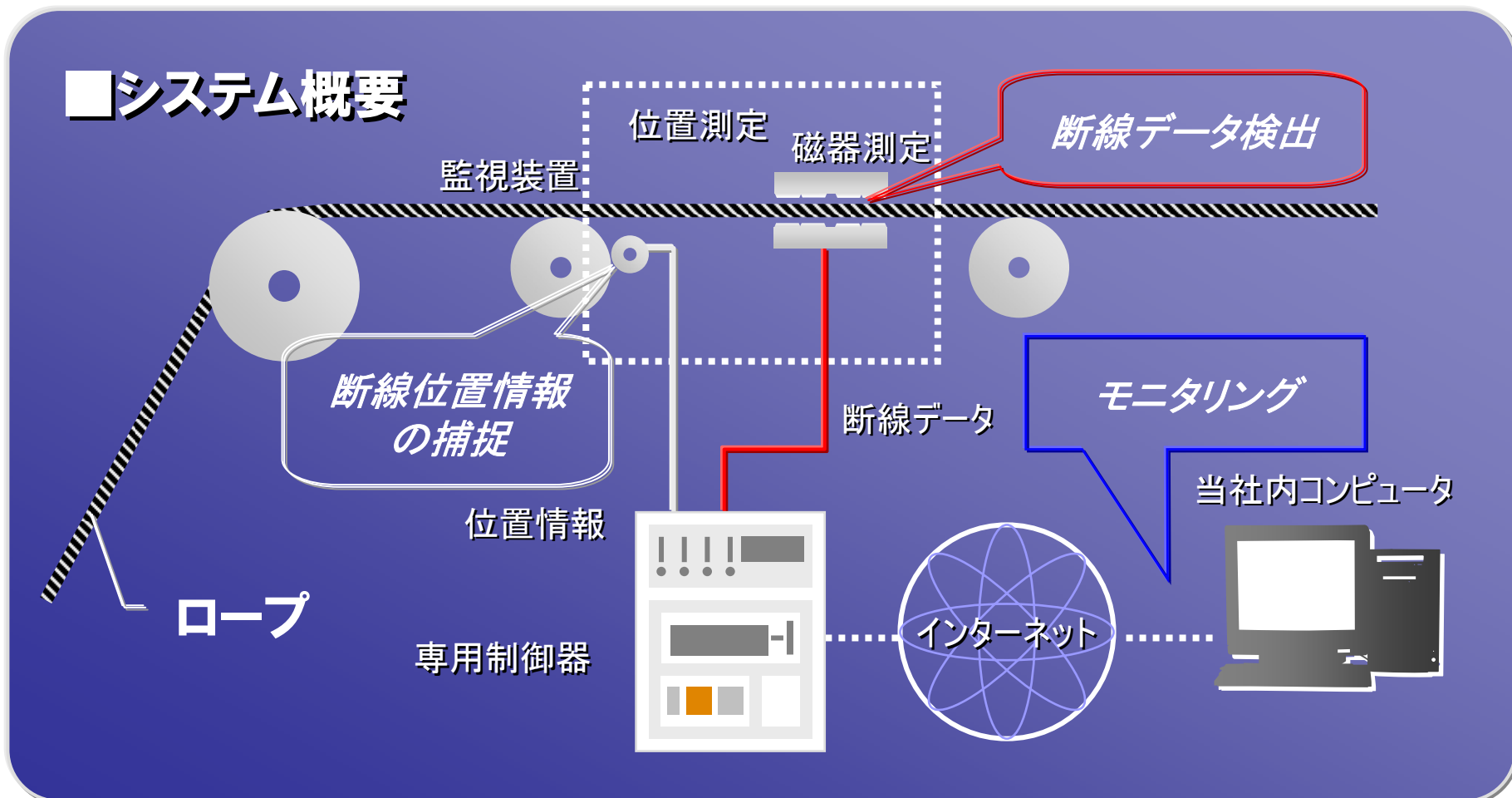
光海底ケーブル用ワイヤ（電線メーカー向け）
世界的な回線需要急増に伴う複数の大型プロジェクトに期待

羽田空港新滑走路建設工事（ロープ・カットワイヤ）

ロープ診断システム(SEMSOR®)を製品化①

画期的なワイヤロープの総合メンテナンスシステム

■システム概要



ロープ診断システム(SEMSOR®)を製品化②

ロープ保守をシステム化 ⇒ ロープ管理のアウトソーシング可能

当社のサービス

- ・ロープ供給
- ・常時遠隔監視・診断
- ・メンテナンス
- ・交換作業
- ・使用後ロープの解析
- ・技術提案



お客様のメリット

- ・安全・安心・安定操業
- ・コストダウン
- ・関連業務のアウトソーシング化

ロープのモニタリングと実機巡回診断により常に状況把握

定期点検、交換時期のスケジュール化が可能

ロープ寿命延長によるコスト削減

ロープに関する業務負担の軽減



ロープ需要の囲い込み

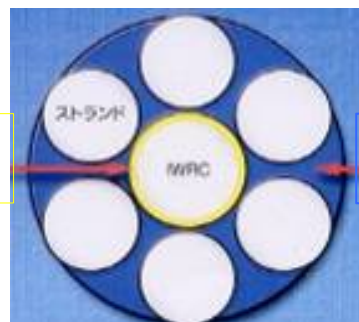
コンテナクレーン用「半被覆ロープ」を開発

ロープ製造工程で
ストランド間に特殊樹脂・ロープ心に樹脂被覆を実施

従来品2倍以上の長寿命化・3%軽量化を実現(社内比)

メンテナンス含むトータルコストの削減・安全性向上に貢献

樹脂被覆ロープ心



樹脂スペーサー



10/3期売上高目標 2.4億円



東京製綱ベトナムが操業開始

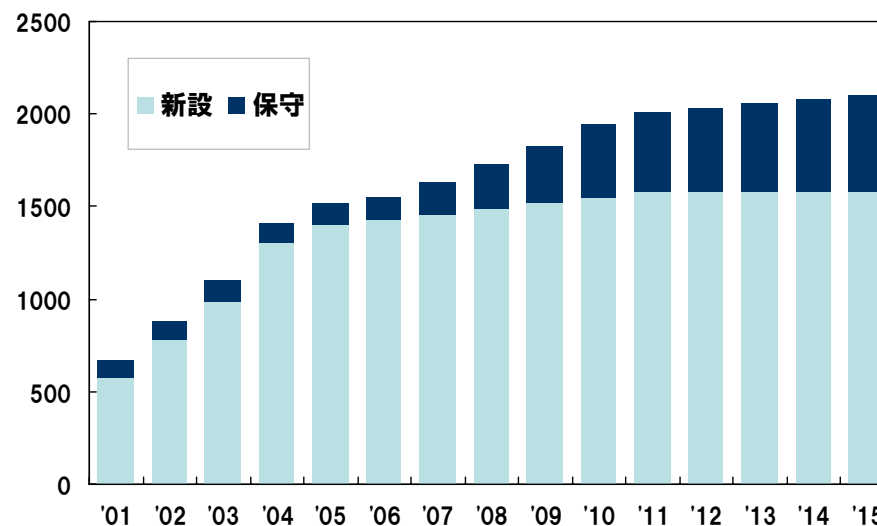
8月31日開業式実施、顧客から認証取得中

生産目標： スタート200t/月、2年後に500t/月

- ターゲット：東アジアの高層・高速エレベータ
- 従業員の教育実施中、来年中のフル操業へ



中国エレベーターロープ需要動向イメージ(当社推定)

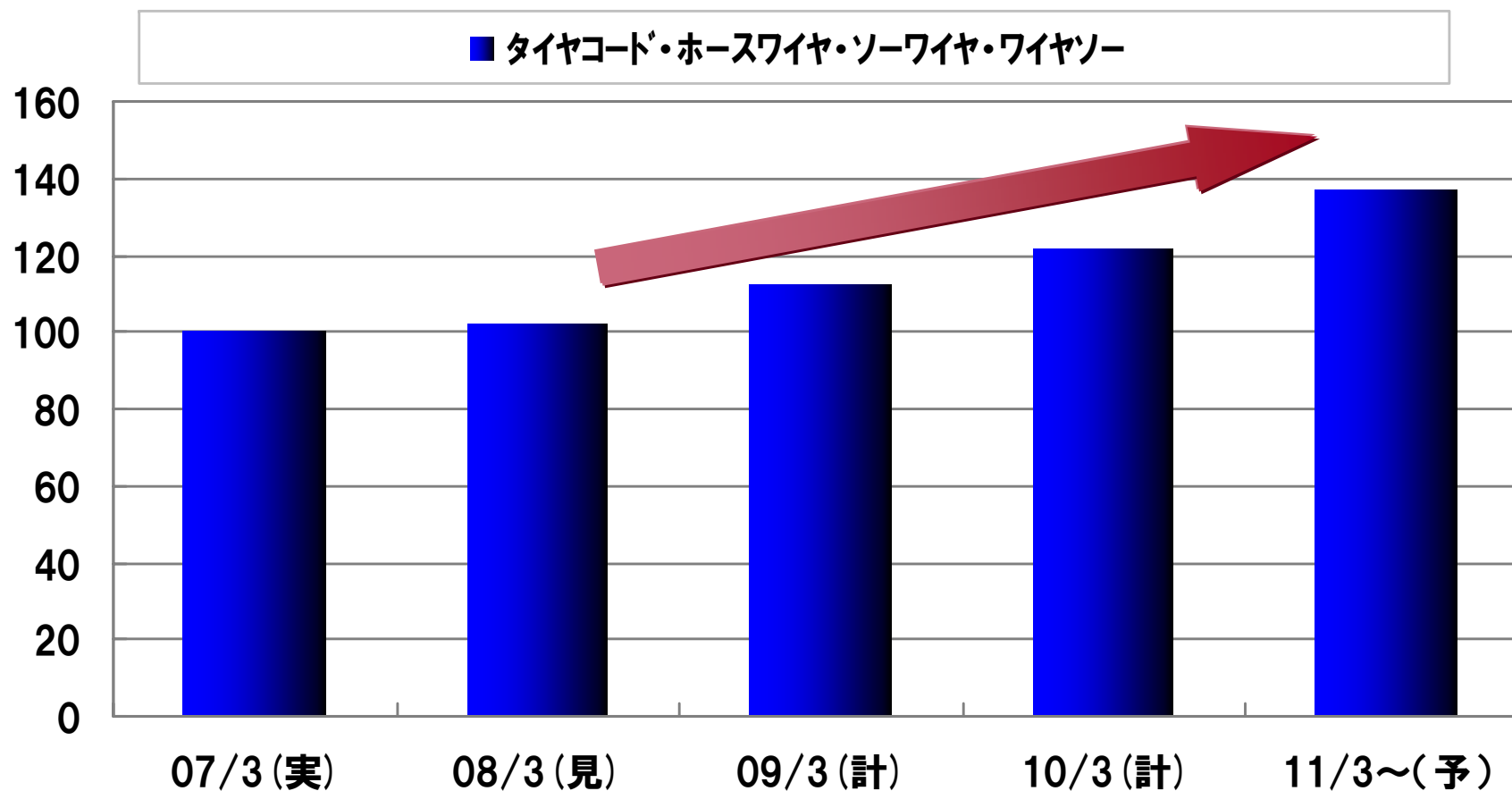


(t/月)

(2) スチールコード部門

海外タイヤコード、ソーワイヤ・ワイヤソーの拡大

当社スチールコード部門 売上推移 (07/3期=100)



スチールコード事業強化策

ソーワイヤ（+ワイヤソー）

08/3期：中間期微増だが通期で+20～30%へ

材料供給問題は09/3期後半から徐々に解消へ

国内タイヤコード

マーケットは横ばい



当社の対応

- ・ 高付加価値の建設車両向けへシフト
 - ・ 材料・タイヤメーカーとの共同開発
- 下期計画：前年同期比+4%（重量ベース）

ホースワイヤ（高圧ホース補強材）

中国建機市場急拡大に伴う油圧ホース需要増に対応
08/3期：前期比+25%

国内タイヤコード事業を強化

東京製綱スチールコードを合併

10月1日より「東京製綱北上工場」

- **製販一体**となったスピーディーな対応
→顧客からの要望、需要環境の変化に対応
- 組織統合による業務の効率化



中国スチールコード工場の現状

東京製綱(常州)有限公司 本格稼働開始

第一期 1,500トン/月 生産体制の設備完了、現地従業員研修中

第二期 3,000トン/月 生産体制を視野

現状

- 第一期生産設備据付、必要人員採用は完了
- 顧客からの認証取得を展開、対象顧客を拡大
→ メインの日系・外資系＋中国ローカルメーカー
- 08年度上期中のフル稼働を目指し、北上工場から指導者派遣を継続、現地従業員スキルアップを実施中



(3) 開発製品部門

道路安全施設

工法の差別化、商品の高付加価値を活かした事業展開

- ①営業力強化: 拡販のための専任チーム設置
- ②施工体制整備: 工事監督体制の強化、施工設備の拡充
- ③生産能力増強: タフコーティッドラインの増強

中国 橋梁用ワイヤ工場

江蘇双友東綱金属製品有限公司（日中合弁・当社30%）

- ・ 大型物件中心の需要に対応、受注が安定

「安定的」な株主還元を継続

配当金： 08年3月期は1株2円50銭を予定

	06年3月期 実績	07年3月期 実績	08年3月期 予想
通 期	2円50銭	2円50銭	2円50銭
配当性向(連結)	18.2%	22.0%	

今中期計画期間中に**連結配当性向30%**を目指す

ご注意

- 本資料は当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的として作成されたものではありません。
- 本資料に掲載されている事項は、資料作成時点における当社の見解であり、その情報の正確性及び完全性を保証又は約束するものではありませんのでご了承ください。

2007年12月

東京製綱株式会社